

## 絵本に込めた思い

大人になっても「ごめんなさい」と言うことは、なかなか難しいです。

皆さんにも、あつとき「ごめんなさい」が言えていたら、その後の関係がよくなつていたかもしれないと、振り返る場面はありませんか。

自分がしてしまったことが悪いとわかつていても、そして「ごめんなさい」という気持ちはあつても、「ごめんなさい」と声に出して相手に伝えることは、私たちが思う以上に勇気がいることなのかもしれません。

大きな過ちをしてしまった大人も、もし子どものころに、相手の気持ちを思いやり、「ごめんなさい」を使うことができたら、不幸な出来事を起こさなかつたかもしれないと考えることがあります。「ごめんなさい」の使い方をきちんと伝える大人に出会つていたら、多くの悲しみは生まれなかつたかもしれないと思うと、残念でなりません。

そこで、皆さんに「ごめんなさい」の大切さを改めて知つていただきたくて、この絵本を制作しました。心からの「ごめんなさい」に、「うん。いいよ」と返す子どもの、そして大人の笑顔が増えたら、嬉しいです。

2019年

更生保護法人 日本更生保護協会



幸福の黄色い羽根は、犯罪や非行のない明るい社会を願うシンボルです。